コミュニティナース
育成プロジェクト

～ 説明資料 ～

我楽田工房

bono ボノ株式会社

プロジェクト概要

✦ コミュニティナースとは？

看護師としての専門性と技術を持ち、
住民の一番近い場所（地域の中）で住民によって組織される地域
コミュニティ（自治会や町内会）と連携しながら、
日常的（中長期的）に住民と関わることで健康的なまちづくりに
貢献する新しい医療人材のこと。

ボノ株式会社

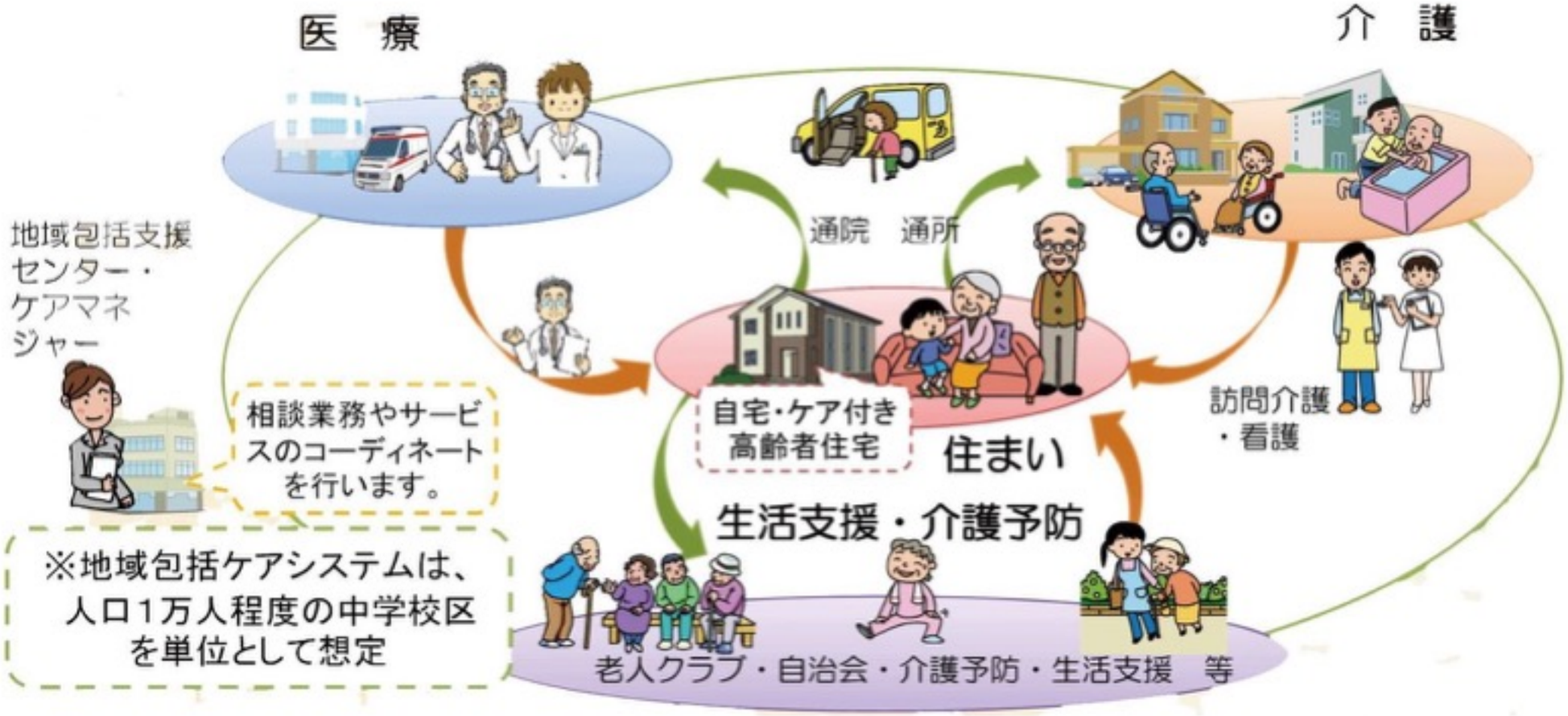
プロジェクト概要

✦背景

①少子高齢化、地域医療・介護の限界

②自治会機能の低下、地域コミュニティの限界

③病院以外でも活躍できる看護師の新しいワークスタイル



プロジェクト概要

✦ 目的

① 地域で活躍できる医療人材の育成

② コミュニティナースが活動するための環境構築

③ コミュニティナースが自活できる事業モデルの構築

住民に一番近い地域の中を拠点に専門性と技術を使って活動する医療人材（コミュニティナース）の育成と、活動するための地域への啓発・環境づくりを通して、コミュニティナースが地域で継続して活動できる新しい事業モデルの構築を目指す。

プロジェクト概要

✦従来の看護師との違い

臨床看護：病院や診療所で働く看護師（7-8割以上の看護師）

地域看護：役場、企業、学校などで働く保健師

在宅医療：病院と連携しながら要介護者の自宅をまわる訪問看護師

↓

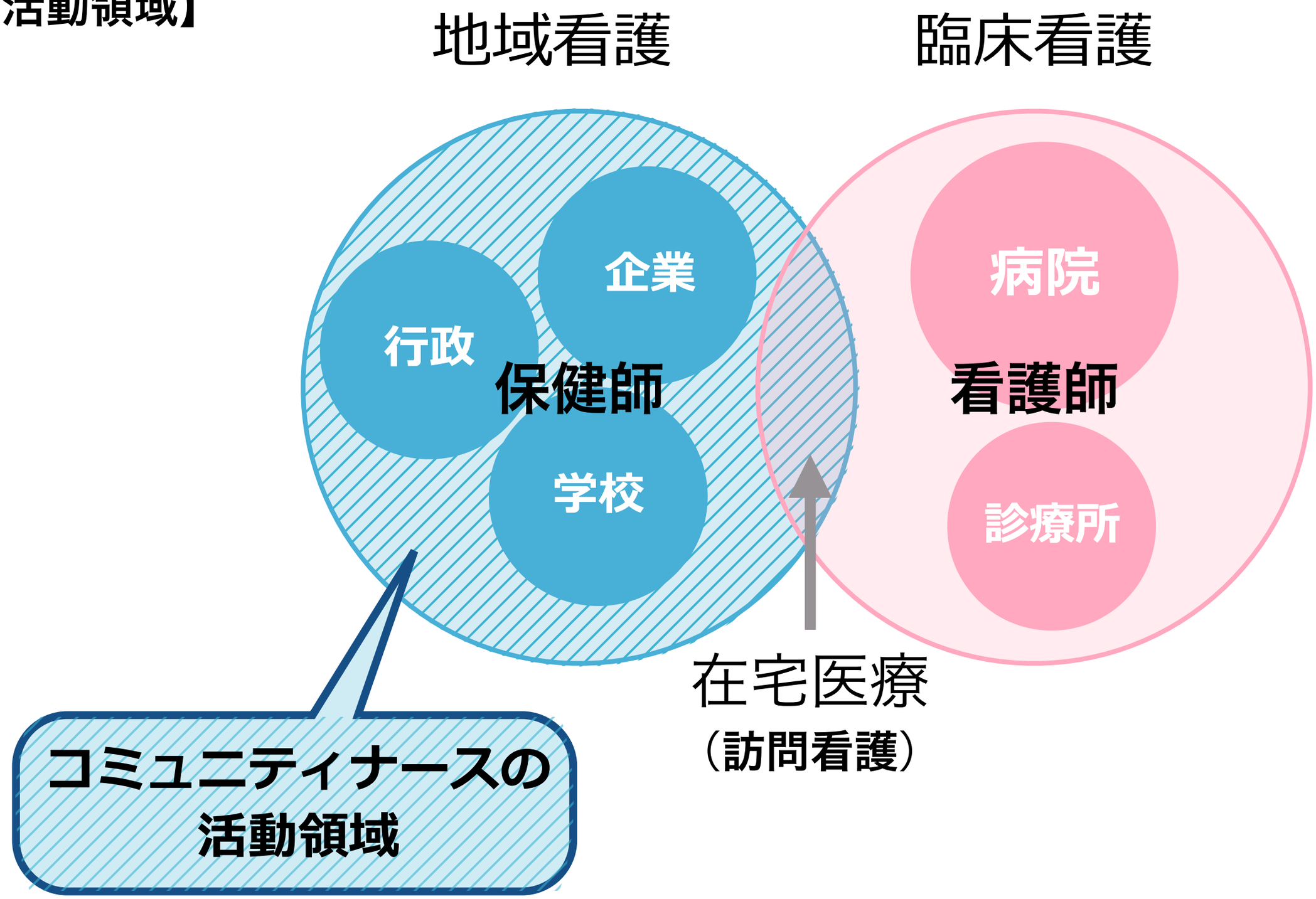
コミュニティナース

住民の一番近い場所（地域の中）で
日常的（中長期的）に住民と関わることで
健康的なまちづくりに貢献する新しい医療人材

ボノ株式会社

プロジェクト概要

【活動領域】



ボノ株式会社

コミュニティナース育成プログラム

コミュニティナース育成プロジェクト
Community Nurse Project

✦ コミュニティナース育成プログラム一期生（2016年4月-9月受講）

ボノ株式会社

✦ フィールドワーク『村の保健室』

水源の里として有名な上林地区にある宿泊施設「あやべ山の家」で、地域住民を対象とした一日限りの「村の保健室」を開設。集まった地域住民と交流しながら健康相談や、それぞれの大切な価値観や願いにリーチする「人好密度」を意識したプログラムを実施。

✦ フィールドワーク『地域散策＆アクティブ・リスニング』

綾部市のほぼ中央に位置する6つの町からなる西八田地区の散策と、住民への交流を通してリスニングするワークを実施。夕方、地域住民を集め、取材結果をチームごとに発表。

✦ フィールドワーク『地域視察』

京都府綾部市内にある医療・高齢者福祉施設、児童施設、地元企業などを見学。

実証実験

✦ 対象地域

京都府綾部市の自治会と連携し、2000-3000人程度の地域をベースにコミュニティナースとしての活動を行い、自活的な事業化への検証を行う。

【候補地域：京都府綾部市】
西八田地区（6集落、788世帯、高齢者率36.8%）
奥上林地区（15集落、253世帯、高齢者率62.3%）

✦ 活動指針

① 機会をつくる　⇒　人と地域をつなぐ企画を考え準備する
② 役割をつくる　⇒　住民と積極的に関わり出番を与える
③ 流れをつくる　⇒　ルールを決めて自ら動き出す

コミュニティナースの活動

✦ 基本活動（案）

①まちの保健室の運営（コミュニティナースの拠点）

②地域巡回（高齢者世帯を中心に検討）

- 見守り
- 宅配、買い物代行
- 食事（一人世帯の関わり）

③場作り（地区ごとの月イチ交流）

- 井戸端会議（歓談）
- 健康診断、生活指導

④地域イベント支援

- お祭り
- 餅つき
- 運動会など

⑤広報活動

- 会報
- ブログ／SNS

展開する地域

✦ 京都府綾部市

綾部市は、京都府の中央北寄りに位置する田園都市。美しい自然環境や豊かな里山・田園と農村の暮らし、平和と歴史・文化に彩られた市街地、ものづくりを中心とする多様な産業の集積、そして京阪神地域と日本海地域をつなぐ交通の要衝地であることなど、地方小都市ながらさまざまな機能や特性がバランスよく備わっています。

■奥上林地区

綾部市街地から北東約25ｋｍに位置する山間地域。国宝二王門の在る君尾山の麓、上林川と草壁川に囲まれた風光明媚な地域。過疎・高齢化が進み、冠婚葬祭、農業用水や道路の維持管理といった共同生活の維持が困難な状況に直面し、集落の振興と活性化を図るための活動に地域を上げて力を入れています。

■西八田地区

綾部市のほぼ中央に位置する6つの町（上八田町、七百石町、中筋町、岡安町、渕垣町、下八田町）からなる南北に細長いエリア。京都縦貫道と舞鶴若狭道が交差している場所にあり、のどかな田園風景や数百年から千年以上前に創設された数多くのお寺や神社などの名所が地区に散在しています。

メディア

✦ 掲載メディア

・京都新聞(2016年8月2日)　http://goo.gl/JzUSGa
・産経新聞(2016年8月3日)　http://goo.gl/rEcJi6
・あやべ市民新聞(2016年8月8日)　http://goo.gl/yDalGv

綾部市、定住促進事業
都市部看護師と住民交流
現状把握で2泊3日 健康相談や血圧測定
高校生、外国人を観光案内

コミュニティナース育成
看護師ら住民と直接対話
地域でワークショップ

あやべ市民新聞
都市部の看護師 綾部に"留学"
コミュニティナースとして来年度から受け入れ
希望者9人が研修
西八田地区で調査

ボノ株式会社

育成プログラム開発＆講師

矢田 明子（やた・あきこ）

出雲市出身
島根大学医学部看護学科卒
NPO法人おっちラボ 代表理事
幸雲南塾1期生／幸雲南塾2代目塾長
島根県総合発展計画策定委員
雲南市立病院企画係保健師
株式会社CommunityCare事業取締役

■経歴
幸雲南塾1期で地域に飛び出す医療人材によるコミュニティ作りを提案。それを元に医療人材を含む町づくり関係者を体系的に育成するプログラムを確立。地区振興計画作りや新しい特産品開発販売、中山間地域での訪問看護事業開始に繋げている。2014年、幸雲南塾生の活動を支援するNPO法人おっちラボを立ち上げ代表理事に就任。医療/保健/福祉分野だけでなく、産業/リノベーション/移住/プロモーション/住民組織/大学/行政など、多様な組織や個と連携したプロジェクトデザインを手掛け、市民の生涯現役の出番づくり(健康づくり活動)を行う。
3児の母。

ボノ株式会社

代表取締役 横山貴敏
東京都文京区関口1-29-6,1F
TEL：03-6228-0051
URI：http://bono.co.jp/

【沿革】

ボノ株式会社は、2008年の創業以来、IT分野を中心とした新規事業開発の支援、システム、メディアの企画・制作、デザイン、ブランディング支援などを行っている会社です。
2014年から「地域から新たに百年の価値を創造する」ことを目的としたコミュニティスペースでありプロジェクトである「我楽田工房（http://garakuta.tokyo）」を立ち上げ、地域から何かをつくりたい、やりたい若者を「ファン」として集め、ファンと共に地域に埋もれている価値ある素材を見つけ、共にカタチをつくる活動を開始。
2015年から地域と若者を繋ぎ、地域の仕事作りを応援する「まち冒険プロジェクト（http://machibouken.com）」などを展開中。